

**製品名: カルパイン 11 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07865**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	81kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CAPN11
別名	CAPN11; Calpain-11; Calcium-activated neutral proteinase 11; CANP 11
遺伝子 ID	11131.0
SwissProt ID	Q9UMQ6
免疫原	抗血清はヒト CAPN11 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 401-450

**背景**

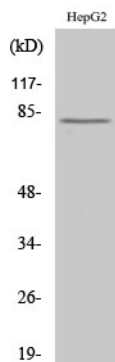
カルパインは細胞内カルシウム依存性システインプロテアーゼのファミリーを構成します。このスーパーファミリーには 8 つのメンバーがあり、80 kDa の可変サブユニットと 30 kDa の不変サブユニットで構成されています。このカルパインタンパク質はプロテ

アーゼ活性とカルシウム結合能を有すると考えられています。同様のマウスタンパク質は、精子形成や減数分裂中のカルシウム依存性シグナル伝達の制御において機能的役割を果たしている可能性があります。 [RefSeq 提供、2008 年 12 月],触媒活性: 広範なエンドペプチダーゼ特異性。 ,機能: 細胞骨格リモデリングおよびシグナル伝達に参与する基質の限定的なタンパク質分解を触媒する、カルシウム調節性非リソソーム性チオールプロテアーゼ。 ,類似性: ペプチダーゼ C2 ファミリーに属する。 ,類似性: 1つのカルパイン触媒ドメインを含む。 ,類似性: 2つの EF ハンドドメインを含む。 ,サブユニット: 大きな (触媒) サブユニットと小さな (調節) サブユニットのヘテロ二量体。 ,組織特異性: 精巣で最も高く発現する。 ,

## 研究分野

-

## 画像データ



カルパイン 11 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析